

しあわせ

vol.18
2019年9月



- トピックス** つばさ園の児童養護に携わって
..... 社会福祉法人 京都社会事業財団 評議員 大江ひろみ
- 施設ナウ!** 各施設の平成30年度 事業報告
- お知らせ NEWSなう!** 法人役員の紹介／ひだまり保育園の夏祭り
- 特集** 介護4施設の人事採用部門一元化に向けた取り組みについて

「北野天満宮」

豊臣秀吉公が築いた「史跡 御土居」のみみじ苑は約350本の樹木が植えられ、中には樹齢350年を越す「三又の紅葉」等の古木もあり秋の紅葉は、御祭神菅原道真公がこよなく愛された梅と同様に御縁の樹木で、今も境内を彩っています。御土居に沿って流れる紙屋川水面には赤や黄色に染まった木々が映え、錦秋の世界へ誘い紅葉のライトアップも楽しめます。

「乗換案内のジョルダン ホームページ」より

各施設の所在地

京都桂病院
京都桂看護専門学校
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
成逸センター
京都厚生園
京都厚生園松尾の家
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
西陣病院
北野保育園
京都厚生園山田の家
つばさ園・ももの木学園
ゆずの木ホーム
榎の木ホーム
松陽児童館
ライフ・イン京都
二条保育園
二条保育園
京都桂川園
京都桂川園久世障害サービスセンター・ショートステイ
昭和保护園

 **社会福祉法人 京都社会事業財団**
Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代(内線8606) / FAX075-393-0140
URL <http://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/法人本部事務局 発行日/2019年9月25日 印刷/有限会社 アクト

法人職員 **2,300名**

 **社会福祉法人 京都社会事業財団**
Kyoto Social Welfare Foundation

施設十ウ!

各施設の最新情報をお届けします!

ももの木学園

事業総括

- 平成30年の4月当初入所児童数は30名の在籍でしたが、年度中に5名の退所児童と8名の入所児童があり、年度末に33名の在籍となりました。
- 通所児童数は、4名から7名となりました。
- 年度末で石坂園長が退職となり、平成31年度から、小川主任心理士が園長となりました。

重点項目

- 1 事業の確立と継続
定員近くまで児童数は増加しています。
- 2 人材確保と育成
研修に積極的に参加。心理職7名全員が国家資格の公認心理師を取得しました。
- 3 不登校対策
前年度から継続して、支援学校の訪問学習を受けています。
- 4 治療に関して
石坂前園長が全児心の紀要に投稿し掲載されました。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp



つばさ園

事業総括

『都道府県社会的養護推進計画』に関しては、施設長会と京都市とで協議を重ねており、具体的な計画は令和元年度に提出する事になっています。子どもたちの様子としては、「京都市社会的養護自立支援事業」も活用して、3人が専門学校を卒業しそれぞれ就職することができました。また、櫻の木ホームも1年が経ち落ち着いた生活を送っています。

重点項目

- 1 職員のスーパービジョン
- 2 性暴力、性虐待対応の研修
- 3 不登校対策
- 4 方法論の明文化
- 5 自立支援
- 6 里親推進
- 7 地域小規模児童養護施設『櫻の木ホーム』の開設

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp



京都厚生園

事業総括

高めてきた特養の看取り機能や自立支援・重度化防止・安心安全なケアなどの推進を図るために、「高齢者虐待・不適切なケアを防止するための指針」等のマニュアルを見直すと共に「看取り介護」「生活リハビリの在り方(個別機能訓練)」「感染症対策」等について、確実に検討・改善を継続していく仕組みづくりを行いました。

重点項目

- 1 経営基盤の確立・事業の継続性
実績目標(利用率)の達成に向けた取組
個別の事業点検を実施
- 2 人材確保と育成
生活支援員など、多様な人材の登用
- 3 地域との連携・地域貢献活動の推進
地域支援活動のサポート

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191
URL: <http://kyotokouseien.com/>
E-mail: kswf@kyotokouseien.com



松陽児童館

事業総括

地域の子どもの健やかな育ちを援助する活動に取り組みました。また、子育て家庭が地域で孤立することがない様に、遊びや行事を通して世代をこえて児童館に気軽に来ってもらうことにより、地域交流を進めることが出来ました。学童クラブは異年齢集団の活動のなかで生活習慣の確立を図り、一人ひとりの状況に応じて自立を促進し社会性を養う支援をしました。

重点項目

- 1 児童館事業
子どもとその保護者を対象に、子ども達の健全育成と子育て支援の促進
- 2 学童クラブ事業
環境整備に配慮して安心・安全の生活の場を提供
- 3 学区地域子育て支援ネットワーク連絡会
基幹ステーションとして、関係機関・施設と連携
- 4 職員育成
資質向上を目的に行政研修と館内研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
URL: <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp



つばさ園の 児童養護に携わって



社会福祉法人 京都社会事業財団
評議員 大江 ひろみ

結婚した相手が、たまたまつばさ園の息子であった事から、彼は、無理はするな、といいましたが、私達の生活が少し落ち着いた頃、私はつばさ園に足をつつ込む事になってしまいました。前園長の大江憲二は、子育ての経験がある事はとても大切な条件やなあと私を励ましてくれました。

飛び込んでみたものの、施設としてあまりにも生活環境の良くない事にびっくりしてしまいました。しかし、大江憲二園長は山科の西別院に居られずにこの場所に來られた事や共同募金の赤い羽根の寄付金頂いて建て替えた所だったようで、そんな風には思っていないようでした。しかし、トイレや水回り、下水など排水の悪さにはびっくりさせられました。世の中は、高度経済成長を迎えておりましたから、施設をよくしようとする事はできる状態にありました。そこで、私は、早速新しく着任された奥山先生を始め、吉永先生、山本耕三君と話し、頑張るってなにかできないのかやってみようではないかと話し合い、立案し、聞ける方々に会って尋ね、寄付の事も聞き、歩きました。園長は反対しておりました。その園舎は今はありません

んが、昭和51年に創立しました。立派な建物でした。その建物で職員はいろいろと勉強し、まずは、子どもには職員は暴力、体罰をふるわないことを一番に決めました。その頃、全国養護施設協議会で、何よりも職員からの子どもへの暴力は禁止にしよう、と提案されておりましたから、法人の協議会の折に提案させて頂き、就業規則にも暴力をふるった職員は辞める事に致しました。それ程子どもへの暴力はあつてはならないものでした。職員の研修会にその頃から龍谷大学教授の山辺朗子先生に来て頂いて、ゼネラリストソーシャルワークを教えて頂きました。また龍谷大学の紀要を発表されていたコミュニケーションも学ばせて頂きました。コミュニケーションは、参加する一人ひとりが強制的な参加ではなく、民主的に自主的に参加する必要がある事も教えられました。参加の仕方から学んだのが大きかったと思われまます。子どもの参加の仕方も同じです。暴力の問題が出てきた時は、子どもと職員と全員で話し合う事が一番の大切な問題となりました。子どもから、手が出そうになったらどうしたらいいの?と質問が出てきます。そうやなあ、ちょっと散歩

にでも出かけてみるかと話してみると、その子は何回か散歩に出かけました。暴力の問題は放置しないようにしています。また、生活環境の整備は何よりも大切で、台所、食器、食器棚などはきれいに整えておりました。ホーム毎で食事をするようになって、ホームのクローラーの設置もし、気持ちよく食事ができるように配慮してきました。また大切な子どもの気持ちを聞く事、甘えたい事も話してもらい、特別に食事も連れてもらい予算も作りました。とても嬉しいひとときであったようです。現在は二つの施設が一緒に運営されておりますが、三年目に入つて落ち着いてきたようだと石坂先生からお話をお聞きしますと、本当によかったなあ嬉しく思います。まだまだ子どもが貧困の状況に陥る事があるでしょうから、つばさ園とももの木学園が発展していけますように願っております。

各施設の平成30年度 事業報告

施設ナウ!

各施設の最新情報をお届けします!

京都桂病院

事業総括

質の高い高度急性期・急性期の医療を提供し、救急・紹介の新入院患者増加を目標としています。平成30年度行動方針は「地域から信頼される救急」とし救急の充実を目指しました。また手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入し、がんゲノム医療連携病院の認定を受け、今後の発展のため新棟を建築しています。



重点項目

- 1 年間救急車搬入件数は3,600台となりましたが、継続して救急を強化します。
- 2 紹介率65%、逆紹介率156%と増加しましたがさらに連携を強化します。
- 3 新棟を建築し、緩和病棟新設、病床機能強化、療養環境向上を図ります。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-1069
URL: <http://katsura.com>
E-mail: info@katsura.com

昭和保育園

事業総括

長年課題としていた園庭を整備し、老朽化していた大型遊具を安全の為に撤去した後に、新たに統合遊具を設置しました。施設においては安全点検や改修、防災のマニュアルも再確認しました。また自然災害を身近に経験し、行事や保育内容環境整備など、一年を通して安全について目を向ける大切な年となりました。



重点項目

- 1 子どもたちが健康で安全に育つよう丁寧な保育をすすめる。
- 2 こぶたクラブやタッチケアの日に地域の子育て支援
- 3 職員の資質向上と健康管理の充実
- 4 施設の安全管理と園児の安全な遊び場の提供

〒605-0994 京都市東山区鞆町七条下ルー橋宮ノ内町15-4
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743
URL: <http://showahoikuen.net>
E-mail: showa.renga@showahoikuen.net

にしがも舟山庵

事業総括

創立10周年となる2年後に標準を置き、2年間の業務改善プロジェクトを立ち上げました。ご入居者の生活の質の向上と働きやすい職場づくりをめざす全職員参加型システムで、ほぼ順調に推移し、施設の強みと課題が明確になりつつあります。施設の稼働率は微増、職員の離職率は前年度を若干下回り、収支については概ね予算通りに推移しました。



重点項目

- 1 全職員参加による全領域の業務改善
- 2 入居者のQOLの増進
ケア技術の向上
協力医療機関との連携強化
- 3 職員の育成
スーパーバイザーの組織的位置づけ
研修参加や施設外発表への支援
- 4 安定的経営基盤の確保
- 5 地域との連携・貢献活動

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
URL: <http://funayamaan.com/>
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

京都桂川園

事業総括

20年間に培われてきた良き風土を成長させ、改めるべきところは改めることに取り組んだ1年でした。ボランティアの方や地域との関係性は園内の委員会や地域包括支援センターの地道な活動により良好に維持することができました。職員確保については長らく途絶えていた新卒介護職員の採用や中途採用者の増加など一定の評価が得られたと感じられましたが、一方で中堅職員の離職が増えたことで離職防止対策の必要性を痛感しています。組織運営については、組織図を簡略化し新たに医務部を独立させ、看護科長を常勤として配置でき長年に渡って脆弱であった医療部門の整備に一応の目途が立ちました。



重点項目

- 1 人権と主体性を尊重した支援をおこなう
- 2 地域との連携を一層強固にする
- 3 職員教育・研修会の充実と人材確保

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
URL: <http://katsuragawaen.com/>
E-mail: info@katsuragawaen.com

にしがも透析クリニック

事業総括

目標を「安定した維持透析と自立した日常生活への支援」とし、努力を重ねた結果、透析患者の診療やにしがも舟山庵入居者の健康管理および一般診療、泌尿器科、慢性腎臓病ほか通常の外来診療の実績は着実に成果を得ております。今後も社会福祉法人の一員として、泌尿器科（透析）の診療を通じ、地域医療に貢献する所存です。



重点項目

- 1 病状不安定な高齢透析者に対し、看取りや終末期医療、認知症への対応
- 2 西陣病院、にしがも舟山庵、在宅医療に携わる医師や看護師との連携
- 3 透析ベッドの効率良い運用、長期入院に伴う空室・空床対策

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

西陣病院

事業総括

平成30年度は様々な新たな専門の常勤医師を増員したことで、地域の開業医や患者の要望にあった医療を提供できました。また、電子カルテの更新を行った際、病棟に移動型パソコンを配備することで、スタッフが多くの時間を患者さんに寄り添える環境となりました。これらの努力が実り、入院延患者数、新入院患者数、病床利用率が大きく増加しました。



重点項目

- 1 地域のニーズに合ったケアミックスの病院体制を維持
- 2 近隣・かかりつけ・開業医・救急を由来とする患者さんの受入れを徹底
- 3 医師の増員、電子カルテ更新をはじめとした設備更新等、ソフト面とハード面の充実

〒602-8319 京都市上京区今出川通七本松上ル
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
URL: <http://www.nishijinhp.com>
E-mail: nisijin@nisijin.net

二条保育園

事業総括

平成30年度から新保育所保育指針が施行されました。前回の改定から10年が経過しています。新保育指針は保護者支援に保育所の役割が今まで以上に重要視されているのが特徴です。平成30年度は保護者支援の在り方を模索した1年でした。家庭での養育力が低下している現状で、「子どもが変われば親も変わる。」を信じて保育の取り組みをしました。



毎年4歳児クラス・5歳児クラスが園外保育で行っている、滋賀県琵琶湖の真野浜です

重点項目

- 1 災害対策
平成30年度は自然災害が多発し、防災の在り方を再考した1年でした。
- 2 保護者対応
育児不安や困難を抱える保護者へ、積極的に個別懇談を進めました。
- 3 園児の健康管理
登園時、朝の視診をしっかりとて、体調不良児のケアを進めました。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019
URL: <http://nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>

北野保育園

事業総括

●「パワーある保育の実践」「いのちと人権をはぐくむ子育て支援」
子どもたちの人権を守り最善の利益を考え、豊かな保育内容の発展と保育機能の一層の充実につとめました。
●「乳幼児の発達と食のかかわり」(食育の推進)
「食べる楽しみをはぐくむ保育」を、保育園を媒体として発信することに尽力しました。



重点項目

- 1 待機児童解消促進事業（産休明け・育休明け保育の推進）
- 2 一時預かり事業・障がい児保育事業
- 3 地域活動事業（翔鷹地域子育て支援ステーション事業・小学校、地域連携）
- 4 職員研修

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上ル老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
URL: <http://kyoto-kitanohoikuen.jp/>



就職フェアでの1分間PRの様子

介護4施設の 人事採用部門一元化に 向けた取り組みについて

高齢・障害者施設人事担当
(ライフ・イン京都) **阿部 裕光**

これまで募集活動については、介護4施設ではほぼらに行っていたため、効率が悪いだけでなく、求職者にとっても非常に分かりにくい対応となっていました。少子高齢化や介護業界で働くことのネガティブなイメージもあり、応募者数は年々減少し、採用ができず、求職活動方法の見直しが必要となっていました。また、新たな人材の確保が困難な中、既存職員に働き続けてもらう仕組みづくりも課題となっていました。

「100年を超える歴史」、「多様な福祉事業を実施している」、「同一法人の京都桂病院並びに西陣病院が協力医療機関である」、「大きな法人で安定性がある」など、当法人の介護4施設には多くの強みがあります。しかし、そのメリットを活かす取り組みができていませんでした。そのような中、まず新規卒者の採用について、グループ採用という形をとり、採用窓口、求人サイトへの掲載、就職フェアのブース運営、採用説明会などの採用活動について一体的な取り組みをはじめました。その結果、数人の優秀な学生さんとご縁があり、10月には内定式を行う予定です。

中途採用についてはまだ施設毎で対応していますが、就職フェア出展時に各施設の募集状況を把握してブース対応を行うことで、採用につながったケースも出てきて

今年度、これまでの施設毎の自主独立な運営方法から、「高齢福祉・児童福祉・医療」という括りでそのまとまりごとに統一感を持った運営」が行える事務組織の統合に向けた取り組みが本格的にスタートしました。法人内介護（高齢・障害）4施設においては、昨年10月から会計・人事それぞれの担当が一元化に向け準備を進め、人事については平成31年3月から実質的な活動を行っています。

います。また、就職フェア・採用説明会ではこれまで顔を合わすことのなかった法人内他施設の職員さんと協力することができ、一体感を感じているところです。さらに、介護4施設は、8拠点で入所、在宅、相談支援など15種類の事業を実施しています。人事の一元化が進めば、例えば入所施設で働く職員が「資格を取得したので相談業務に職種転換したい」と希望した場合にこれまで以上にチャンスや選択肢が広がることになります。業務の効率化もさることながら、働く職員にとっては多様なキャリアデザインを描くことができるようになり、転職による離職防止にもつながるのではないかと考えています。

人事の一元化への動きは始まったばかりです。今後、各施設の給与、休日、福利厚生などの雇用条件を整理し、「採用」「給与（雇用条件）」「研修（職員育成体制）」を統一していく（整えていく）ことを目指し、取り組んで参ります。皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



施設ナウ!

各施設の最新情報をお届けします!

各施設の
平成30年度
事業報告

ライフ・イン京都

事業総括

稼働率アップを目指し、入居推進を重点課題として取り組んできましたが、年間退去者数が過去最大であったことが影響し当初目標には届きませんでした。経営基盤確立に向けて、居宅介護支援事業の廃止や改修工事内容の見直し、人材確保に特に力を注ぎサービスの維持・向上に努めました。開設から33年が経ち、建物の維持管理を含め施設のこれからの方向性を打ち出す時期に来ており、今年度はその体制づくりにも着手しました。



重点項目

- ① 入居推進と経営基盤の確立
- ② ご入居者の思いに添った生活の実現
- ③ 施設の維持管理
- ④ 職員の計画的な補充と育成

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899
URL: <http://lifeinkyoto.com>
E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp

京都桂看護専門学校

事業総括

30年度の学生数は、新入生39名に在学学生87名を加え126名でした。31年度入学者の募集の為に実施した推薦・一般入学者選抜試験には75名の応募があり、選考の結果39名が合格となりました。30年度の卒業生は39名で、全員が看護師国家試験に合格し、その内、法人内施設（京都桂病院）への入職者は38名でした。



重点項目

- ① 教育活動の充実
専任教員2名を採用
臨地実習指導者研修会を開催
- ② 学習環境の整備
老朽化した視聴覚教室プロジェクタを更新
- ③ 質の高い学生の確保
学校公開・説明会を開催
学外ガイダンス等に参加
学生寮ボイラ布設替工事を実施

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-14
TEL: (075) 381-0971 FAX: (075) 382-5445
URL: <http://katsura-nsc.net>
E-mail: katsura-nsc@nifty.com

当法人の役員ご紹介

6月22日評議員会・理事会において、以下のとおり選任されました。（任期：令和元年6月22日～令和3年6月）

会長・理事	所 属	
野口 雅 滋	京都桂病院 名誉院長	再任
理 事	所 属	
松原 義 人	ライフ・イン京都診療所 所長	再任
澤村 忠 則	二条保育園 園長	再任
深尾 憲 一	弁護士	再任
伊谷 賢 次	西陣病院 院長	再任
源野 勝 敏	京都厚生園 園長	再任
若園 吉 裕	京都桂病院 院長	再任
監 事	所 属	
桑木 肇	公認会計士	再任
浅野 義 孝	元京都市保健福祉局長	再任
顧 問	所 属	
坂元 和 夫	弁護士	再任

NEWS!
なう!

ひだまり 保育園の 夏祭り



ひだまり保育園では、現在、職員の子どもさんを28名お預かりしています。



8月終わりには夏祭りが開催されました。魚釣りや、輪投げ、ボーリング、スイカ割りなどの催しがあり、たくさんの参加者で賑わいました。

ひだまり保育園 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-32
※お申込み、見学等は各施設の担当部署へお問い合わせください。